

山形県の古木・名木 No.29

薬師ザクラ (やくしざくら)

西置賜郡白鷹町大字高玉字薬師堂3663

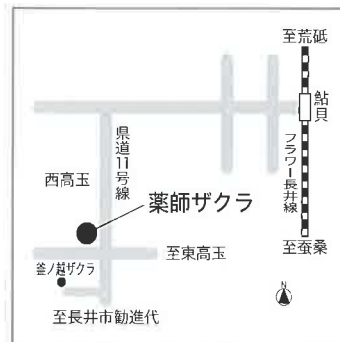
白鷹町大字高玉の薬師堂の社前にあるエドヒガンの老樹で、現在のところ正確な由来がわかっていない。

幹周(目通り)約8m、主幹は一大空洞をなし昭和29年の台風で地上3mの上部を失い、西側にも幅1mほどの裂目が開いており老衰が著しいが、今も花盛りには貫禄を示して、人々の目を楽しませてくれる。

昭和30年8月1日山形県指定天然記念物に指定されている。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



県指定天然記念物

薬師ザクラ

昭和三十年八月一日指定

町内に現存する桜の老木の中で、最も風格のあるもののひとつである。薬師堂も薬師ザクラも現在のところ正確な由来がわかっていない。西の方に「観音堂」の地名があり、現在、東高玉内福寺にある観音堂(県指定有形文化財)は、その昔観音堂の地であったものといわれている。

老衰が著しいが、精力の旺盛な頃は枝ぶりもよく、広い面積に枝を張り、見事なものであったという。今も花盛りには貫禄を示して、人々の目を楽しませてくれる。

○樹種 エドヒガン

○幹周 約8メートル(目通り)

平成四年九月

白鷹町教育委員会

【森林やまがた53号(2001年8月)記載】